

建設コンサルタンツ協会 近畿支部

インフラ整備70年 第3回講演会

若手技術者におくる

インフラ整備にかけた、先人たちのメッセージ

「名神高速道路の建設

—日本初の高速道路の建設への挑戦—

講演者: 酒井 和広 (西日本高速道路(株)代表取締役社長)

大塚 勝美 (元日本道路公団理事)

渡辺 孝雄 (元日本道路公団理事)

田村 幸久 (元日本道路公団北海道支社長)

芝村 善治 (西日本高速道路(株)取締役専務執行役員経営企画本部長)

高瀬 健三 (鹿島建設(株)土木管理本部プロジェクト推進部長)

荒井 明夫 (株NIPPO取締役常務執行役員技術本部長)

コーディネーター: 大津 宏康 (京都大学大学院教授)

日 時: 2019年

12月2日(月)

講演会 14:30~17:20 (受付開始 13:30)

交流会 17:40~18:40

場 所: OMMビル 1F グラン

〒540-6591 大阪府中央区大手町1丁目7-31

■講演会

定員: 300名

会費: 1,500円 (学生 無料)

■交流会

定員: 150名

会費: 2,000円

申込方法: ホームページよりお申込み下さい

<https://www.kk.jcca.or.jp/>

※本講演会は建設コンサルタンツ協会 CPD プログラムとして認定されています。



主催: (一社)建設コンサルタンツ協会 本部・近畿支部

共催: (公社)土木学会 関西支部

後援: 国土交通省近畿地方整備局、(一社)近畿建設協会、(一社)日本建設業連合会 関西支部、(一社)関西地質調査業協会
NPO法人あすの夢土木

写真提供: NEXCO西日本

建設コンサルタンツ協会近畿支部「インフラ整備 70 年」講演の目的

20 世紀後半から今日までの 70 年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業であるといつて過言ではありません。それらの事業の記録はさまざまな形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

戦後の代表的なインフラ整備事業に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、将来のインフラ整備事業にかかわる若手技術者に、先人たちは技術者としてなにを考え、どう行動することにより困難な状況を克服してきたかを知ってもらい、インフラ整備への情熱をもってもらうとともに、これらの事業や情熱を広く一般の方々に伝えたいと思っています。そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会(中村英夫 委員長)」を設置し、各種の事業の中から 100 プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

講演プログラム

14:30 ~ 14:40	あいさつ (講演趣旨説明)
14:40 ~ 17:20	講演会 1. 計画の経緯 2. 設計思想 3. 建設 4. 維持管理 5. 整備効果とその後の展開 6. 建設の意義 若手技術者との意見交換、質疑応答
17:40 ~ 18:40	交流会

申込み方法：建設コンサルタンツ協会近畿支部 HP (<https://www.kk.jcca.or.jp/>) よりお申込みを行って下さい。

応募者多数の場合はお断りする場合がありますので、ご了承ください。

問い合わせ先：(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 TEL：06-6945-5891

講演者・コーディネーター紹介



酒井 和広
西日本高速道路株式会社
代表取締役社長



大塚 勝美
元日本道路公団理事



渡辺 孝雄
元日本道路公団理事



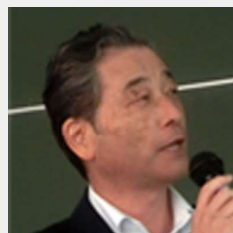
田村 幸久
元日本道路公団
北海道支社長



芝村 善治
西日本高速道路株式会社
取締役専務執行役員
経営企画本部長



高瀬 健三
鹿島建設株式会社
土木管理本部
プロジェクト推進部長



荒井 明夫
株式会社 NIPPO
取締役常務執行役員技術本部長



大津 宏康
京都大学大学院教授